近畿ガス工事株式会社

2023 年度　環境経営レポート

（対象期間：2023 年10月1日～ 2024 年9月30日）

:::地球に優しい天然ガス:::
:::環境に優しいガス工事:::

For The Amenity Life

近畿ガス工事株式会社

お客様の「快適な暮らし」
の実現に貢献する

エコアクション21
認証番号 0002092

作成日：　2024年12月13日

目　　次

項　　目	ページ
ごあいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
認証・登録の対象組織・活動　事業や製品（商品）の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6～8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

―持続可能な開発目標（SDGｓ）への貢献―

エネルギーをみんなにクリーンに
・地球にやさしい天然ガスの供給

産業と技術革新の基盤をつくろう
・DXなど最先端技術の活用
・ICTを活用した現場施工管理

住み続けられるまちづくりを
・耐震性に優れたガス管の埋設

つくる責任つかう責任
・工事時のCO2の削減
・産業廃棄物の適正処理

気候変動に具体的な対策を
・災害時の緊急出動体制の確立
・熱中症対策を施した現場管理

パートナーシップで目標を達成
・Daigasグループとの連携

□ごあいさつ

当社は1950年（昭和25年）に大阪瓦斯（現大阪ガス株式会社）の指定工事会社として設立され今年で創業74年目を迎えました。これもひとえに皆様のご愛顧ご支援の賜物であると感謝申し上げます。当社の環境活動への取り組みは2003年（平成15年）に認証取得した環境マネジメントシステムISO-9001での活動からで、業務活動を通じCO2削減への取り組みや産業廃棄物（ASｶﾞﾗ、COｶﾞﾗ、廃ﾌﾟﾗ等）の適正処理等に取り組んでまいりました。

近年、我が国でも2050年までのカーボンニュートラルの実現を宣言しており、脱炭素社会へ向けた動きが加速し温室効果ガス削減のための企業の役割は年々高まってきています。

当社は従業員一同が一丸となって省エネルギーと地球温暖化物質等の低減に向けた事業活動を展開し、SDGｓのひとつでも多くの目標達成に貢献して持続可能な社会の実現に向けた環境経営活動に取り組んでいく所存です。

□環境経営方針

＜環境経営理念＞

近畿ガス工事株式会社は、環境企業理念である『真心を込めた仕事で「顧客満足」と「信頼」を獲得し、お客さまの「快適な暮らし」の実現に貢献する』を基本に、ガス導管建設業務とガス導管維持修繕等及びガス機器設備業務の事業活動を通じて、近畿圏の発展と環境の調和、そして環境への負荷削減をはじめとする以下の環境保全活動に積極的かつ継続的に取り組み、地球や環境に優しい天然ガスによるガス工事の施工をお客さまにお届けし、持続可能な社会に貢献する企業を目指します。

＜環境保全への行動指針＞

１．事業活動に関わる環境関連の法規・条例を遵守すると共に、Daigasグループの環境方針要請事項を遵守します。

２．事業活動における環境負荷の低減や環境改善を図るため、次の事項に重点的に取り組みます。

1) 省エネルギーを推進し温暖化ガスの削減に努めます
2) 環境に適合した天然ガス･太陽光発電等の製品の施工･販売に努めます
3) 廃棄物の削減と再生利用に努めます。
4) 節水の推進を図ります。
5) 環境に配慮した施工推進に努めます。
   ①非開削工法の推進
   ②FK工法の推進と再生砕石の利用
   ③低騒音型、排出ガス基準に適合した掘削機械の使用

３．この環境方針は、社員並びに協力会社に周知徹底いたします。

制定日： 2007年6月1日
改訂日： 2024年10月6日

代表取締役社長　水野　浩和

□組織の概要

（1）名称及び代表者名
近畿ガス工事株式会社
代表取締役社長　水野　浩和
（2）所在地
本　　社　　京都府京都市中京区西ノ京中御門東町　135
京滋建設事業所　京都府京都市中京区西ノ京樋ノ口町　117
京滋営業所　　京都府京都市中京区西ノ京北小路町　8
京滋保全事業所　京都府京都市中京区西ノ京樋ノ口町　116
久御山事務所　　京都府久世郡久御山町東一口大島　38番1
北東事務所　　大阪府高槻市大塚町　3丁目26番2号

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
担当者　　統括部長　　川上　泰央　　TEL：０７５－８１１－８２９１
（4）事業内容
ガス導管建設業務及びガス導管維持修繕

（5）事業の規模　（2023年10月1日～2024年9月30日）

	合　計	本　社	京滋建設事業所	京滋営業所
従業員　名	138 名	8 名	37 名	29 名
延べ床面積　㎡	1511.11 ㎡	199.98 ㎡	341.74 ㎡	312.99 ㎡
売上高	159,403　万円		29,053　万円	65,254　万円

	京滋保全事業所	久御山事務所	北東事務所
従業員　名	40 名	18 名	6 名
延べ床面積　㎡	241.74 ㎡	218.06 ㎡	196.6 ㎡
売上高	29,775　万円	28,391　万円	6,930　万円

（6）事業年度　　１０月１日～９月３０日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：　近畿ガス工事株式会社
対象事業所：　本　　社
京滋建設事業所
京滋営業所
京滋保全事業所
久御山事務所
北東事務所
対象外：　無し
活動：　ガス導管建設業務及びガス導管維持修繕

□事業や製品（商品）の紹介

外管部門

ガス導管：敷設・設置事業

道路でのガス管敷設工事を施工している部門です。

内管部門

ガス導管：敷設・設置事業

お客様の敷地や家屋内のガス管設置工事の設計や施工の部門です。

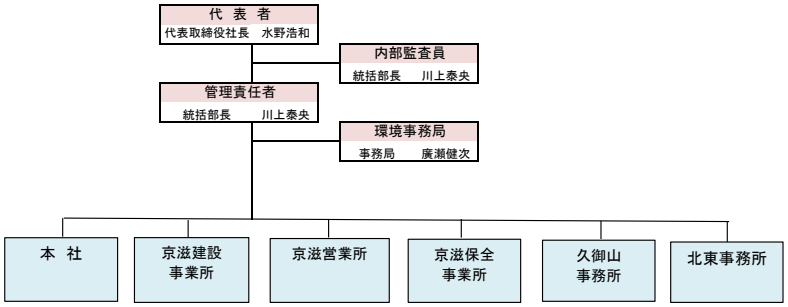
販売・設置事業

住宅設備機器：販売設置事業

ガス設備機器の販売・設置工事の施行をしている部門です。

□環境経営組織図及び役割･責任･権限表

更新日： 2022年11月30日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する責任と権限を有する
	・環境経営システムの実施に必要な人員、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者の任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書の承認
	・環境経営レポートの承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を作成、確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長（所　長）	・自部所における環境経営方針の周知
	・自部所の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部所に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・自部所に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部所の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部所の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム	・環境に関する内部監査の計画
	・環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加
	・環境に対しての問題が発生した場合、部門長（所長）に報告

本社　京滋建設事業所　京滋保全事業所　京滋営業所　久御山事務所　北東事務所

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-C02	424,513	418,061	405,599
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	3.320	3.355	3.158
産業廃棄物排出量	トン	3,200	2,545	4,462
総排水量	m^3	3,627	3,924	4,096

※二酸化炭素排出係数　0.418　kg-CO2/kWh　関西電力2021年(調整後)の係数を使用
※負荷の実績は工事現場を含む

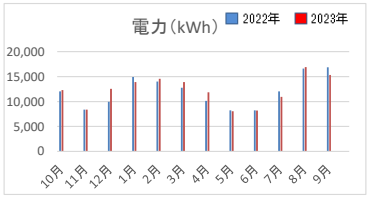
□環境経営目標及びその実績

項目＼年度		基準値	2023年		評価	2024年	2025年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-C02	60,254	59,651	61,345	×	59,651	59,049
	基準年度比	2022年	99%	105%	×	99%	98%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-C02	12,681	12,555	10,636	○	12,555	12,428
	基準年度比	2022年	99%	84%	○	99%	98%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-C02	341,298	337,885	329,028	○	337,885	337,885
	基準年度比	2022年	99%	96%	○	99%	99%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-C02	414,233	410,090	401,009	○	410,090	409,361
一般廃棄物の削減	kg	3,264	3,231	3,158	○	3,231	3,231
	基準年度比	2022年	99%	97%	○	99%	99%
産業廃棄物の削減	kg	61,645	61,029	1,150	○	61,029	60,412
	基準年度比	2022年	99%	2%	○	0.99	0.98
建設副産物の再資源化	%	100%	99%	100%	○	98%	97%
水道水の削減	m^3	3,324	3,291	3,496	×	3,291	3,258
	基準年度比	2022年	99%	105%	×	99%	98%
環境に配慮した工事の推進	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成　×未達成
活動:◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

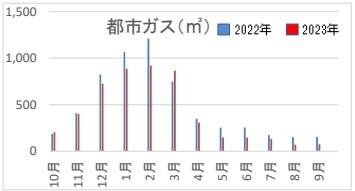
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	2023年度検満作業員を増員による電力増。昨年度に比べガスファンヒーターの使用からエアコン電気ヒーターの使用が多く使われた。新型コロナ感染対策推進以降、事務所のデスクワーク分散化により多くの電力を消費したと思われる。また京滋建設事業所、北東事務所における電球のLED化が進んでいないのが課題。来期も各事業所の冷暖房機器の点検並びに適正化のチェックを実施する。
・不使用時の消灯	○	
・エアコンは、夏季は27度、冬季は20度に温度設定	×	
・エアコンフィルターの清掃を6月、12月に行う	○	
・トイレの必要時のみの点灯	○	
・コピー機、プリンター類の最終者による電源OFF	○	



取組紹介欄

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	12,037	8,378	9,946	14,927	13,999	12,768	10,125	8,222	8,247	12,039	16,587	16,873
2023年	12,301	8,393	12,536	13,880	14,556	13,886	11,848	8,029	8,175	10,948	16,897	15,309

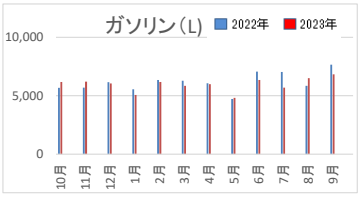
都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	各事業所の冷暖房器具の適正化チェックを実施。働き方改革により早期帰宅を推進した。2023年は技能訓練による生ガス使用訓練の機会を増やした。回数風呂の利用の機会が増え電力使用が増加。所属長による電力使用状況のチェックを行う。夏場、冬場の事務所の換気の影響もある。
・温水温度の適正化	○	



取組紹介欄　室外機簡易点検

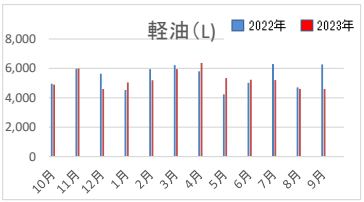
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	184	410	824	1,065	1,209	750	348	255	255	174	152	153
2023年	205	400	725	887	921	865	308	147	147	133	72	75

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	滋賀県野洲、奈良県田原本転換（遠隔地）の営拡工事の増加により、ガソリン、軽油とも燃料消費量が基準年を上回った。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	
・エリア別営業活動の見直し	△	



取組紹介欄
全社用車対象に走行距離、給油、オイル交換等を記録保存している。
毎朝TBM（現場開始前ミーティング）時、始業前車両点検後現場へ移動している。
無事故プログラムDRを試験的に導入しエコ運転の評価を数値化する取組みをしている。

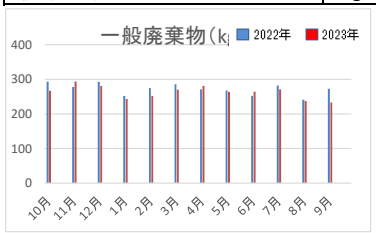
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	5,673	5,690	6,155	5,559	6,343	6,291	6,066	4,730	7,064	7,041	5,856	7,659
2023年	6,174	6,202	6,053	5,070	6,174	5,846	5,998	4,819	6,356	5,689	6,511	6,831



取組紹介欄
全社用車対象に走行距離、給油、オイル交換等を記録し保存している。
毎朝TBM時、始業前車両点検後現場へ移動している。
無事故プログラムDRを試験的に導入しエコ運転の評価を数値化する取組みを検討中。

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	4,962	5,975	5,644	4,534	5,951	6,230	5,803	4,233	5,021	6,296	4,710	6,271
2023年	4,897	6,005	4,594	5,038	5,193	5,955	6,368	5,342	5,228	5,208	4,614	4,592

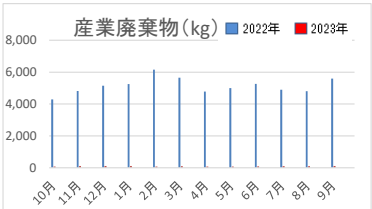
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	ZOOM会議の増加により、会議資料の帳票類が減少したことが要因である。両面コピーの使用向上意識も浸透しペーパーレス化が進んだ。また現場作業において監督、作業長のDX推進によりタブレットを活用して紙オーダーの打出し減少により持ち出し書類を削減できた。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	



取組紹介欄
段ボール、雑紙、シュレッダー屑を関西盲導犬協会に寄付をしている

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	293	278	293	252	275	286	271	268	252	282	241	273
2023年	267	294	281	243	252	270	281	264	264	271	238	233

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	古くなった工事資材、撤去時に堀上る埋設シート（ビニール）類、PE屑の分別の徹底が行われた。引き続き分別回収の継続実施。保管場所の設置、マニュフェストの適正管理を継続して行う。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・素材別ボックスの設置	○	
・リサイクル業者の開拓	△	



取組紹介欄

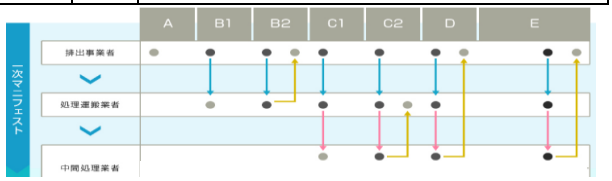
PE屑（配管時に発生する切れ端）、ポリエチレン製の廃材は、回収してポリエチレン製品に再利用している。他の産業廃棄物は、優良処理業者に自社運搬して処分している。

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	4,290	4,820	5,150	5,250	6,150	5,650	4,780	4,995	5,260	4,900	4,810	5,590
2023年	80	110	110	110	80	100	80	80	90	100	100	110

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	ASｶﾞﾗCONｶﾞﾗのがれき類は建設リサイクル法に則り産廃廃棄物処理業者に運搬し全て破砕処理、再資源化処理をしている。
・分別の徹底	○	
・再資源化先の開拓	○	

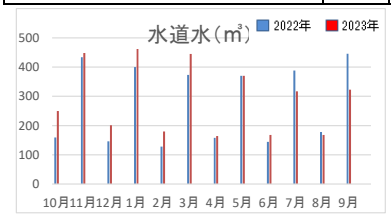
取組紹介欄

ASｶﾞﾗCONｶﾞﾗのがれき類は
紙マニュフェストの交付にて管理。
処分受託者からの終了報告
は5年管保存している。



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
2023年	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	2024年5月に京滋建設事業所において屋内屋外水道配管に漏水が判明する。(水道料金高騰により覚知)6月に一部配管引き直し工事により漏水箇所修繕完了する。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水弁取り付け	△	
・自動水栓取り付け	×	
・トイレに擬音装置取り付け	×	



取組紹介欄

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	159	434	146	400	128	373	158	370	144	388	178	446
2023年	250	448	201	462	180	445	164	370	168	317	168	323

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事の効率化	○	供給管工事における非開削工事の年間目標本数120本を達成し、産廃削減に貢献した。埋め戻し土砂ヤードFK土の使用。管理室の現場点検により、仕様書に準じた施工が行われているかを確認している。
・作業ミスの防止	○	
・顧客クレーム削減	○	
・廃棄物の再資源化の推進（別項目で実施）	○	

取組紹介欄

現場点検結果状況
(環境に配慮した工事)
(ゴミの分別)

緊急資機材の携行

工事現場で排出されるゴミの分別回収

現場環境に考慮した安全保安策の設置

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁法	油類・有害物質の保管
浄化槽法	浄化槽
下水道法	除害施設
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去３年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定：　火災の発生	
■実施日：　2023/12/25	■実施場所　三条事務所ヤード
■参加者：　京滋建設事業所従業員43名	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練、ホースマスク装着訓練
■評価：	手順書の変更の必要性　□ あり　☑ なし
緊急資機材の点検、消火器の有効期限確認と点検、緊急事態の際、ハンドマイクにて避難誘導が適切に行えるかの実践訓練を行った。ハンドマイクや、ガス検知器等の電池切れや、緊急資機材の数量、劣化ががないかチェックする。	
■実施状況の様子	

工事手順の確認講習	
■実施日：　2023/12/25　　2024/7/22	■実施場所　三条事務所ヤード
■参加者：　京滋建設事業所従業員　35名	■実施内容： ・仕様書の手順確認、通報訓練
■評価：	手順書の変更の必要性　□ あり　☑ なし
夏期冬期保安点検強化月間中に実技訓練勉強会にて工事の基本作業習熟訓練を行う。	
■実施状況の様子	

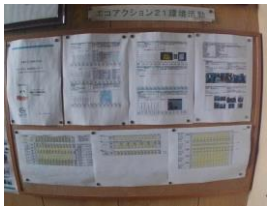
□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年10月15日

1. 環境経営方針　現行方針を継続し2024年度も同様に「2017年度版ガイドライン」を基に審査受審する。
2. 環境目標・計画　弊社の取り組む環境活動は、受注工事量や工事内容に左右される。また現場環境も常に変化している為
   各環境活動の目標値は適切に見直す。
3. 実施体制　問題なし。
4. その他　事業活動における環境負荷の低減や環境改善を図る為の5つの重点項目は引き続いて社員並びに関係協力会社に
   周知徹底していきます。また来期も各事業所単位で環境目標を意識した事業活動を展開しつつ、技術やスキルを若い
   社員に継承し、ライフラインの保安確保とガスをお使いのお客様に豊かな暮らしを提供できる企業を目指していきます。

環境経営方針	☑ 変更なし	□ 変更あり
環境経営目標・計画	☑ 変更なし	□ 変更あり　実績を踏まえて見直す
実施体制	☑ 変更なし	□ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介



毎月初め町内清掃の実施　　EA21教育風景　　負荷記録表の社内掲示